

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23536	
事業名	福祉除雪費						
評価担当課	所属	保)総務部 地域福祉・生活支援			電話番号	211-2932	
施策名	地縁による団体(町内会・自治会)、福祉のまち推進センター、N						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	高齢者世帯や重度の身体障がい者世帯などで、冬期間の道路に面した出入口部分等の除雪が困難な世帯に対して、地域協力が除雪作業を行うとともに、必要に応じて、安否確認を行うことにより、地域で安心して暮らすことができるよう支援し、地域福祉活動を推進することを目的に平成15年から実施している。近年の大雪や単身高齢者世帯の増加による事業ニーズの高まりにより、協力が不足する状況もあるため、事業広報活動を強化していくとともに、持続可能な制度設計を目指した見直しに着手する必要がある。					
	事業内容(何を実施し)	公道に面する一戸建てに居住し、概ね500m以内に除雪を援助できる子又は子の配偶者が居住していないで、自力での除雪が困難と認められる世帯に対して、市の道路除雪が行われた日に道路に面した出入口部分部分を除雪するとともに声かけ等の安否確認を行う事業である。地域福祉の推進を担う中心的な団体である札幌市社会福祉協議会が主体となって実施していることから、本市より当該事業に係る補助金を交付している。また、各区役所においても受付の窓口や利用世帯の審査等の実務を行っている。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	高齢や障がいにより除雪が困難な方たちが冬期間地域で安心して生活できるよう支援する。					
	他都市の状況	旭川市、小樽市、江別市など、道内の多くの市町村においても、類似した除雪サービスを実施している。					
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外					
令和5年度決算額	112,349 千円	うち特定財源	111,532 千円	正規職員業務量	0.7 人工		
令和6年度予算額	122,000 千円	うち特定財源	120,434 千円	正規職員業務量	0.7 人工		
令和6年度決算額	112,876 千円	うち特定財源	111,764 千円	正規職員業務量	0.7 人工		
令和7年度予算額	127,000 千円	うち特定財源	124,582 千円	正規職員業務量	0.7 人工		
指標	アウトプット活動指標1	地域協力員数		という活動、業務を行うことで			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		3,688人	3,878人	3,719人	3,974人	3,723人	3,535人
	アウトカム成果指標1	利用世帯の満足度		という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		89.00%	90.00%	91.80%	90.00%	90.00%	90.00%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		制度の安定運用のために必要な水準である地域協力員数一人当たりの担当世帯数1.55人を達成することが利用世帯満足度の維持につながるとして設定。令和6年度は活動指標は未達だが、利用世帯数が見込みよりも少なく、全ての利用世帯とのマッチングが達成されたことから満足度も9割を維持できている。				
	アウトプット活動指標2	地域協力員数		という活動、業務を行うことで			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		3,688人	3,878人	3,719人	3,974人	3,723人	3,535人
アウトカム成果指標2	地域協力員の満足度		という状態にしたい、成果を挙げたい				
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
	95.10%	90.00%	96.90%	90.00%	90.00%	90.00%	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方		制度の安定運用のために必要な水準である地域協力員数一人当たりの担当世帯数1.55人を達成することが地域協力員満足度の維持につながるとして設定。令和6年度は活動指標は未達だが、利用世帯数が見込みよりも少なく、全ての利用世帯とのマッチングが達成されたことから満足度も9割を維持できている。					
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	令和5～6年度にかけて実施した社会福祉審議会地域福祉活動専門分科会にていただいた意見をもとに令和8年度からの利用世帯要件変更や地域協力員活動費の増額を含む事業見直しを検討している。						